

基本的な考え方

これからの時代に求められる  
資質・能力を育む教育

自己肯定感を高める教育

多様性を力にする教育

学校・家庭・地域が相互に  
連携、協働した教育

施策の方向性

施策

主要な取組例

教育内容や教育方法を改善・充実します

①言語能力、問題発見・解決能力、情報活用能力の育成

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、理数教育の充実、個に応じた指導の充実、プログラミング教育の実施、情報モラル教育の実施、ICT機器を活用した授業の推進、学校図書館の活用、教育アドバイザー等を活用した教員研修の実施

②市民性を高める教育の推進

武蔵野市民科の実施、キャリア教育の充実、ESDの考え方の推進

③外国語教育・国際理解教育の推進

外国語教育の充実、小学校における英語の指導力の向上、日本や外国の文化にふれる活動(オリパラ教育レガシー)の推進、外部検定試験の奨励

④人権教育・道徳教育の充実

人権教育の推進、いじめの未然防止・早期対応、道徳授業地区公開講座の実施

⑤体験活動の充実

長期宿泊体験活動(セカンドスクール・プレセカンドスクール)の実施、連合音楽会や演劇鑑賞教室・オーケストラ鑑賞教室等の実施、生涯学習事業との連携の検討

⑥体力向上・健康づくりの取組の充実

運動習慣の定着と体力向上の取組、都体力調査結果の活用、オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした教育活動(オリパラ教育レガシー)の推進、食育全体計画の作成と活用、給食・食育振興財団との連携

⑦安全教育・安全管理の充実

セーフティ教室の実施・安全マップづくりの取組、救急救命講習の実施、様々な事態を想定した避難訓練の実施、食物アレルギーへの対応、緊急メールの活用

多様な教育的ニーズに応じた  
指導・支援体制を充実します

⑧一人一人の教育的ニーズに対応する特別支援教育の推進

特別支援学級・特別支援教室・通常の学級における指導体制支援と連携のあり方の検討、障害の理解啓発の推進

⑨不登校対策の総合的推進

登校支援員とSSWの配置拡充、チャレジルームの機能強化、フリースクールとの連携

⑩実効性のある教育相談体制の充実

教育センター構想の見直し、帰国外国人教育相談の充実、貧困対策など学校の福祉機能の充実

学校教育の質の向上を  
図るための環境整備を  
推進します

⑪誇りとやりがいをもてる働き方の追求

武蔵野市立小中学校における働き方改革の推進(部活動指導員の導入、出退勤や出張等管理のICT化、教員の持ち時数削減、補助人材の配置、学校徴収金管理システムの構築等)

⑫学校運営体制の検討

学校運営組織の活性化(開かれた学校づくり協議会や代表者会の充実)、地域コーディネーターの活躍促進、学校運営の中核となる教員の育成、学校評価(自己評価・学校関係者評価)を生かした学校運営

⑬学校と地域との連携・協働体制の構築

学校・地域・保護者が目標を共有した学校協働体制の構築(開かれた学校づくり協議会の位置付けの見つめ直し、地域と学校との関係性の再検討)、学校HP等による積極的な情報発信、大学・企業との連携